

川崎愛児園 さくら



2020.10号

発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設川崎愛児園
発行月 令和2年7月

住所

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区
馬絹1丁目24番5号
TEL: 044(855)2591
FAX: 044(865)4445
mail: kawasaki@aijien.or.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社



危機管理（命を守ること）



理事長
野村 隆

川崎愛児園が社会福祉法人として運営されてから44年目になりました。多くの方々のご支援によって子ども達は健やかに育っています。関係者と職員の皆様へ感謝・お礼申し上げます。

現下、新型コロナウイルスの発生で社会的混乱の状況ですが、川崎愛児園を創始された宮崎氏が個人で施設を始められた時は今より何倍も厳しい環境でした。誰もが生きることだけに必死になっていました。創始の志を思い「命を守ること」を次の世代に繋いでいきたいと思っています。

2019年は台風豪雨の被害が川崎市でもあり、当園も浸水がありました。川崎市社会福祉協議会法人経営者部会の研修をした数日後のことでした。現在の科学水準は災害を防止するには不十分です。その都度の事態に対処するしかできません。予防・備蓄・訓練は予見可能な範囲で想定外のないようにしています。危機管理については人命の安全を第一に



制度の範囲で適切な水準を維持しています。

川崎愛児園では今回の事態に、園長以下職員は迅速に情報を収集し、対応マニュアルを作成実施しています。理事長として職員の質の高いことを誇りに思います。医療的に命を守ることに専念すると経済的に命を失う人が増加します。弱い人がさらに困窮します。生物的生命と社会的生命が同等であることを改めて認識しました。

児童を養護するためには地域との繋がりを強め、支援し支援されて共生をはかることが総合して「命を守る」ことになることを学びました。

創始の志で「命を守る」とは「生きる」ことであつたのですが、これを基本として、今「命を守る」とは「生活すること」に比重を移して繋いでいきたいと思っています。

今後も川崎愛児園の子ども達が元気に生活し、社会に巣立っていくことに力強いご指導ご支援をお願いいたします。

令和2年 「みなさまへ感謝申し上げます。」



施設長
白戸 隆

年に一度の広報誌が出来上がりました

のでご覧いただければと思います。

世界規模で命が失われる事態となっている新型コロナウイルスは、新たな生活様式に移行を求めるなどの変化をもたらしました。また、各種の災害とは別に経済活動に大きなダメージを与えていくことへの不安を増大させています。宇宙規模、地球規模で命そのものを見つめると絶妙なバランスのなかで我々は生かされているのだと感じます。少なからず私たちは命を尊重し助け合いながら生きていくことが大事で、そのことを世代間で引き継げるよう頑張らないといけません。施設はこのことが時間をかけて行える環境にあると思います。たくさんの方に支えられていることを実感させながら人を大切に思える人間として養育できる、生活できる場として子ども、職員の成長に関わっていききたいと思っています。

今回、自粛生活の中で子どもたちにオンラインでの勉強や、楽しい時間の提供、また多くの方々よりマスクや消毒液、対策用の物品、食料品等々のご支援をいただきました。謙虚に匿名でという方もいらっしゃいました。さらに寄付金という形でいただきましたこと大変有難く心より感謝申し上げます。今後とも子どもたちのためよろしくお願い申し上げます。



法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへの質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。」

「命を大切に」

「地域の中で養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることを、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

ソーシャルワークについて考える

川崎愛児園 監事 西迫 一郎

年齢50の半ばを過ぎて、ちょっと勉強する気になり、四ツ谷にある上智社会福祉専門学校（上智社専）に通った。私は社会福祉士の2年コースと、精神保健福祉士の10ヶ月コースに（毎週土曜日の昼間）在籍したが、3年近く通ったことになる。お陰さまで、他の学科の学生や、先生とも親しくなり、今でも勉強会と称し、先生にお越しいただき、皆で集まっては飲み会をしている。4年前の7月26日火曜日未明にある事件は起こった。

この日、神奈川の福祉サービス第三者評価機関の代表者会議があった。未明の事件について、責任論が語られていた。あまりにも他人事の議論なので、正直言って失望した。

上智社専は月々金（土）の17時50分から2時限制であった。この日、私の敬愛するK先生の最終講義であった。授業終了後に先生に、お礼を言い、未

明の事件についてコメントを頂戴することにした。

先生曰く「こんなことは滅多にないことです。多くの人が傷つき、法的には何らかの責任論も出てくるでしょう。でもあなたは、語弊を恐れず言えば、一人ひとりの人（Human Being）に向かい合い、ソーシャルワークを志すものとして、自分で考えて行動する以外、答えが用意されていない。このような貴重な機会を得られたことは、むしろ喜ばしいことではないか」と。

K先生のような先生がこの上智社専には過去も現在も少なからずいらした。ひとこと言つと、社専愛に満ちた先生ということだろうか。K先生ご自身は上智大学の理工学部を出たあと、カナダ・米国での大学・大学院でソーシャルワークの学位を取り、日本社会福祉事業大学で教鞭をとっておられた方があった。先生の口癖は、私はあなた方を大学院レベルの学生として扱います。その上智社専。今年で募集を停止する。2年後には閉校。社会福祉士資格者は22万人を超えているという。

このコロナ禍で、会計事務所こそがソーシャルワークの担い手にならなければという仲間が出てきた。世の中見捨てたものじゃない。



支援団体クローズアップ

川崎愛児園に継続的なご支援をしてくださっている団体の方々をご紹介します。

可能性が広がる体験を

「NKKシームレス鋼管株式会社様の取り組み」

独自の製造方法と技術でハイグレードのシームレスパイプを製造、年間生産能力26万トン・従業員約500名を抱える企業、「NKKシームレス鋼管株式会社」さん。社会貢献にも力を入れており、川崎愛児園にも平成23年から様々な御支援をいただいています。今回は感謝の思いを込めてその御支援の一部を紹介いたします。

「子どもたちのコミュニケーション力を伸ばし、世界の人々と関わる人になってほしい」そんな思いを込めて実施されているのがプレゼンキッズプログラムです。平成24年から月1回のペースで実施し、英語と触れ合うことを中心に子どもたちの表現の幅を広げるためのワークを行って下さっています。開始当時は慣れない英語に戸惑っていた子どもたちも、スタッフの方々の暖かい関わりもあり楽しんで参加するようになりました。

子どもたちが自然と触れ合う体験プログラムも年に3回程開催して下さっています。田んぼでの田植え・稲刈り体験や雪山でのスノーシュー体験は大好評でした。自分たちが刈ったお米で作ったカレーライスの美味しさに感激したり、初めて見る一面の雪景色に感動し、全身雪まみれになるまで遊ぶ子どもたちの笑顔は本当に輝いていました。

今年度は新型コロナウイルスの影響もありプログラムの開催が危ぶまれていましたが、5月からリモート形式で再開することができました。社会全体が自粛している状況下で子どもたちも外出するできない中で再開は本当に嬉しかったようです。

口頃の園生活だけでは体験出来ない多くの事を、社会や人との繋がりを通しながら学ばせていただけることは、子どもたちは勿論、それを見守る職員にとっても大きな喜びです。何かの御縁もあり、こうした機会を与えて下さることに深く感謝致します。



スノーシュー体験
リモートによる
プレゼンキッズ

この繋がりを通しながら学ばせていただけることは、子どもたちは勿論、それを見守る職員にとっても大きな喜びです。何かの御縁もあり、こうした機会を与えて下さることに深く感謝致します。

つながれ、信頼と愛の輪

川崎市社会的養護自立支援事業（株式会社パンナ） 柳生 真弓

2018年から川崎市より社会的養護自立支援事業の業務委託を受け、児童福祉施設等にいる児童や退所した方への自立支援をさせていただいております株式会社パンナと申します。

現在私たちが行っている自立支援には、高校生向けの進路相談や職業体験、自立のための各種プログラムの提供、そして退所した方への生活支援や就労相談などがあります。進路相談では、これまでの歩みを振り返りながら新たな道を探る中で、子どもたちは自分の進路を明確に設定していきます。今年度、川崎市の奨学金給付金に加え、国の修学支援制度によって進学できる可能性が広がったことはとても喜ばしいことでした。

一方、退所した方から「仕事を辞めたから次の仕事を探して」という連絡が入った時には迅速な支援が求められます。ネットの求人サイトを通じての応募も容易になった現在ですが、求人票だけでは見えない企業の受け入れ態勢や環境を把握し、親身になって育成に協力していただける企業をご紹介することも重要です。なぜなら、「給与が高い」「休みが多い」などの理由で仕事を辞めたけれど、上司や同僚とうまくいかずに辞めてしまったというケースは少なくないからです。人間関係がうまくいかない要因は様々ですが、私たちは本人の成長を信じながら、企業、職員の方とも連携し、就職、そして就労定着へとつなげていくことを目指しています。

自立支援とは、施設を巣立った方が一人で生きていけることを目指すというより、多くの人のつながりの中で自分らしく生きていけるようお手伝いをさせていただくことではないかと考えています。川崎愛児園において、子どもたちが職員の方やその他多くの方と育んでこられた信頼と愛の輪が、巣立っていく先で新たに会う人との間にも広がっていくことができますように、私たちも日々努力をしていきたいと思っております。



職業体験（塗装）マナー講座

お料理講座

就労支援業務中の
Yさん（左）

子育て応援団の「組織」として

宮前区更生保護女性会 会長 伊藤 啓子

更生保護女性会、あまり耳にしない名前だと思いますが、私達は十七万人の会員から成る全国組織のボランティア団体です。

私達は女性の立場から犯罪に陥った人達の立ち直りや自立支援、犯罪や非行の防止、子育て支援等の活動をしています。そして全国に所在する一三〇〇地区会の一つに私達宮前区更生保護女性会があります。

やむなく罪を犯してしまった人達が出所後生活の基盤を整えるための施設への食事支援、社会を明るくする運動や区民祭に参加して啓発活動をしています。

私達の愛児園様との出会いは、白戸園長先生に子育て支援についての研修会の講師をお願いした時から始まりました。その後、園を訪問させていただき、私達のすぐ身の周りで起こっている現実には衝撃を受け、何かお手伝いできる事はないか会員と話し合いました。今年間子どもは四一四万件、不登校十四万人、自死三五〇人超え、虐待件数十三万件、貧困率十三・九％、少子化の中にあつて子どもを取り巻く環境はとて厳しいものがあります。頭の中では解ついても自身の中で現実化していなかった部分がたくさんあります。

愛児園様とはお付き合いがまだ浅いものですが毎年十月に行われます「愛児園まつり」への物品の提供や新入園児の身の廻り品の名前付け等をさせて頂いております。また年間を通して土手の清掃、花の植付け、子ども達との遊び相手等幅広くお付き合いさせて頂けたらと思っております。

又地域の小学生の放課後の居場所づくり広場「あいあい」の食事作り等もお手伝いさせて頂ける様になりました。

施設長はじめ、スタッフの皆様子ども達に対する接し方、ユニットごとの一つの家庭を想定し日常生活を送れるよう様々な工夫をされながら共に生活を送られていることに頭の下がる思いです。

これからも同じ地域に住む住人として末長くお付き合いできたらと願っております。



令和2年度 ご寄附者様一覧

日頃よりご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

尚、一部お名前が分からず姓のみとさせていただいている方もいらっしゃいますがご了承下さい。

また、お名前に誤字脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘ください。(順不同・敬称省略 令和2年6月2日現在)

個人 … 手塚勝也 太内義明 菊池哲夫 瓜田緑 平岡康子 平田喜一郎 嘉山兼則 木内賢一 柴田弘之・和美 戸石浩司・陽子 上原久典・経代 平林茂 中田統一郎・めぐみ 落合文雄 小島喜芳 青山光征・良子 石川誠・洋子 伊崎輝子 安藤高久 田中洋子 目代由美子 松本良保・馨子 北川智子 佐々木裕子 山川洋子 近藤智恵 吉田薫 幸山真理子 宇田川恵子 織茂耕治 中神智美 加藤信二 瀧澤祐子 中村布佐子 住職・安藤秀岳 友松祥之介・利英子 浅岡米 福井文治 三宅寛 渡辺俊子 青木隆 小宮山康生 藤田泰保子 吉原保昭 眞田恵子 山川さよ子 大川原美樹 工藤謙子 鈴木政明・雅代 嘉山紘子 竹内綾 田辺国治 立原希哲 市川洋子 中田由紀子 片岡サカエ 秋岡正男 石川紘子 飯島正之 岩崎輝子 栗山恵吉 岡城久美子 佐野悦雄 長澤義浩 森正俊 木川由香 伊地知洋 長澤安記 道岡結子 杉野綾子 武蔵澄子 堀富博 上地雄輔 相崎恵子 松本由紀子 中村剛也 岡嶋弘 小西山香菜子 瀬川成躬 小沼麗子 加登直代志 須藤敦子 井上智恵子 出口賢道 中田綾子 岡田広介 渡辺欣哉 武井明 西中山あすか 岡田美智子 芹田加代子 小関博之 吾妻良子 中野徹 寺澤宣法 渡部裕美 藤木淑子 福世明子 浅野弘毅 藤田友子 重谷智香子 稲田美栄 志村俊彦 清水新一 植田優 田中章浩 安藤詳一 佐藤慎一 青木寅治 山川信雄 後藤啓志 松本亜鐘 田中知佐江 黒田尚代 石井摂子 梅本貴音 加藤昇 加藤奈津美 谷山徳法 矢城協子 飯島由里子 神道麻貴子 中島紀夫 大木直美 山本周子 佐藤良勝 茶谷聖美 山田真弓 広瀬綱子 垣江里子 坂井マサミ 長岡いずみ 佐々木ちえ子 加瀬加代子 白鳥幸子 勝野由美子 丸山次夫 萩田強 安岡正則 セルマ中村 森岡リエ 宮城みづえ 津崎一郎 藤谷裕美 大橋由利 平井幸 篠田フミ 齋藤学 安藤千恵子 平出由貴 瀬戸由美子 大塚佳子 中村悦子 安藤あゆ子 久家洋子 本田廣海 吉満史代 野地愛子 森井悦・泰子 宮内恵子 横田晴子 吉田キヨ子 土屋敏子 難波裕子 佐々木あや子 矢合静子 五十嵐隆一 木村三由紀 木村育代 橋浦順子 山本淑子 林崎良子 宮原つし 根本聡子 高木幸子 吉田章子 田邊聖子 大塚宏之・和枝 宇田敏彦 原英子 片山美夜子 一戸淑子 林文子 岡田美子 濱田阿佐美 高宮悟 内田塔子 井上高 佐々木博美 垣野友章 大川ミサ 風見大貴 上田あかね 佐々木豊子 灰谷みさき たけにちほみ 東條翔太 細川朋美 恩田久直央 伊藤啓子 久保田栄子 浜崎利恵子 小嶋明子 富澤寛子 中村俊彦 三井和美 門一徹 近藤由美子 田島愛子 大友千恵子 森田幸子 橋本文子 内田富士子 齊藤雅子 八木こずえ 松葉美枝子 松井美帆 鈴木陽子 永山一成 橋浦順子 都倉準一 桜井英雄 平本茂 岩田弘枝 福田照 安部正和 吉村房子 山田直子 伊坂弘次 横田恭子 立原智子 齋藤邦子 牛島和代 相羽英訓 鈴木朱子 二ノ宮圭子 鎌倉雪 川畑藍 堀由紀子 小長井浩子 石川良子 四宮慎太郎 村上道子 長田正次 宇都榮子 桃井玲 下岡朋子 中里文雄 三上聡史 山田佳代 林幸恵 福田勝樹 高野繁 村井昇 渡辺慶子 夢ら丘実果 中村 水口 長谷川 新井 田中 橋本 横井 山下 岡 他 匿名多数

団体 … 川崎市長 川崎市社会福祉協議会 神奈川福祉事業協会 こども元気!内科クリニック 読売新聞川崎読売会 毎日新聞東京社会事業団 大和リース 有馬療養温泉 安岡重高 三菱ふそう労働組合本社支部 (株)朝日ホーム 紫紅会少年部 ルミエール小児歯科 川崎富士見ライオンズクラブ 日本乳化剤(株) ヒラノ商事(株) 宮崎小学校 宮崎中学校 野川小学校 野川中学校 橋小学校 橋中学校 生田中学校 (株)ワークエンジニアリング (株)ジュガーレディー本社 (株)カレンズ 北信土建(株) (株)チュチュアンナ ガイア川崎店 ガイアらくらく館 京セラ宮前平寮 青木萬吉商店 (株)ファーイーエスト ネットワーク 井上ラジオ 吉兆野川店 リ・ケア福祉サービス ぶちらるじゅえ 宮前平医院 特別養護老人ホーム等々カ 玉川高島屋 初山幼稚園 Curves(川崎鷺沼店・川崎宮崎台店・センター北店・センター南店・ダイエー向ヶ丘店・モアナイス上小田中店・横浜吉野町店・横浜綱島店・港北新羽店・すすき野とつきゅう店・麻生百合店・溝の口店・稲田堤店・市ヶ尾店・江田駅前店・たまプラーザ店・川崎津田山店) 日本鏡餅組合 (株)サニクリーン東京 (株)エヌアセット 一般財団法人チャイルドワン 田園調布雙葉学園中学高等学校エリザベット会 三橋園 遠藤環衛(株) (株)ライオン事務務 神奈川トヨタ自動車(株) こどものいえも保育園 フィリップモリスジャパン(株) 榎宮前関口電機 代表取締役 近藤淳一 川崎市歯科医師会 城南信用金庫宮前平支店 支店長 光英正史 川崎市馬絹郵便局 川崎野川郵便局局長小泉明 ワールドメイト(社) 神奈川県養豚協会会長 山口昌興 小味山電気管理事務所 ショッピングカード 丸井川崎店 (株)ドリマックス・テレビジョン(ドラマ本部) (株)しむら クボタ眼科 NKK シームレス鋼管(株) 奥野設計(株) エルプラス (株) ガイアフィールド 東芝労働組合 小向支部 東芝労働組合本社 コストコホールセールジャパン(株) 一般社団法人神奈川県馬主協会 (株)UYEKI (株)伊藤園神奈川西地区営業推進課 東京電力常備労働組合 高津看護専門学校校友会 たいまつ食品 東急百貨店グループ労働組合 グリーンハイフ手づくりの会 十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科 ダスカジャパンファウテモック NPO法人 RISE JAPAN (株)茂園食品 東京福祉大学リハビリホームから鷺沼 日本農産工業株式会社 カネコ文具店 東洋大学 梅原農園 (有)ウエハラ新聞館宮前サービスセンター 認定特定非営利活動法人ハッピーステップス(公社) 全日本不動産協会川崎支部 春日山部屋 東京医療専門学校 鶴見大学短期大学部 浜友観光(株) 総務課 甲斐秀和 水上学園 トイズラス(株) 大和人 高志博博(株) プレナス小野頭 ミサワホーム(株) 宮前グリーンハイフ自治会 あいおいニッセイ同和損害保険(株)MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ 日本出版販売(株) 楽天(株)楽天サンタプロジェクト アーバンロケサービス 一般社団法人川崎地域自治研究センター(株) アパマンショップネットワーク 明治安田生命保険相互会社 神奈川県運動具商協同組合 宮前区社会福祉協議会 宮前区第3地区社協 神奈川県社会福祉協議会 日能研 全国シャンメリー共同組合 横浜西ロータリークラブ ギャップジャパン(株) コーポレートコミュニケーションズ 一般社団法人日本児童文芸家協会理事長 矢部美智代 元型物語寄贈プロジェクト事務局 久坂七夫 日蓮宗親道山慈照寺 常葉寺 (株) ajet japan 代表取締役長澤健太 東芝セキュリティ(株) 芳賀淳一 株式会社プレナス田中健司 岡米専社長 松本亮平 株式会社日本教文社 株式会社ハイパーフィット代表取締役 亀田政幸 宮前区更生保護女性会 オンシャレ工房 KBN 株式会社代表取締役 齊藤越崎 ファンケル化粧品 オリモファーム カンガルー宮前子育てねっとわーく 岡田会計 岡田玲子 大学不動産連盟 (株) クレノハウス morimoto プロジェクト 日本フィルムニッピ(株) ムーンバット プレム・ラット日本事務局合同会社 文屋代表 木下豊 株式会社三菱東京UFJ銀行鷺沼支店 高津ネットあつるの溝の口 NPO法人 NGO フク21 ふらっとホーム グランフィールズカントリークラブ代表杉山孝 読売センター川崎駅前所長 酒井通雄 榎富留屋古賀吾庵取締役専務 大堀裕 宮前警察署生活安全課 (有)フルーツガーデン 関本 関本典子 東京サンライト(株) 本多利彦 有馬鷺沼地区社会福祉協議会会長 福田照 鷺沼小学校 PTA 柳生駅前ファミリー歯科 マツダ(株) 野平そめや内科クリニック 全日本不動産協会神奈川本部川崎支部 日本トラスティサービス信託銀行(株) 社会福祉法人神奈川県共同募金 関東アイスクリーム協会 川崎労働者福祉協議会事務局 成田仁 アサヒ飲料株式会社 (株) 公益社たまプラーザ会館 日須 一般社団法人 川崎青年会議所 向ヶ丘第五次自治会 (株) セレモニアあつる 公益社団法人 報知社会福祉事業団 オメガクリエイティブデザイン(株) 中村薫 有限会社紀之国屋商店 ゆうたんのほったん 代表取締役 新谷優樹 (株) セント キョーナ溝の口店店長 岩尾裕樹 Over40 united 平安会館みやまえだいら パークホームズ HR 会・おうち英語の会 (公社) 養生堂社会福祉事業財団 宮前第三地区民生児童委員協議会 いちごサンラック 積水ハウス川崎支店 合同会社 rakusuo NPO 法人 カワサキミュージックキャスト 株式会社三笠 (代表取締役社長 甘利茂伸) パーソルテンスタッフ(株) (公社) 生命保険フィナンシャルアドバイザー協会 ほほえみの和 陽だまりの会 コロナと戦うボランティアマスク作り倶楽部(代表 須藤紀子) ひかり鍼灸整骨院(後藤弘弘) 一般財団法人ゼンショーかがやき子ども財団 一般財団法人みらいこども財団 (株) フレーベル館 末日聖徒イエス・キリスト教会 日本コカ・コーラ株式会社

その他 … 愛児園祭りバザー一品寄附: 沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。

お礼 … いただいた寄附金は地域向けの居場所事業や退所児童のアフターケアのために役立させていただいております。誠にありがとうございます。

マスクをありがとう



◆新型コロナウイルスでマスクが入手困難のなか、沢山の方々からマスクの御寄附を頂きました。手に入らない状況で、企業や奉仕団体の方々からマスクを頂けたり、ボランティアや個人の方々から手作りのマスクを送って下さいました。施設という集団生活をしている私たちには大変有難く、とても助かり感謝しております。本当にありがとうございます。

今年度の川崎愛児園祭りのお知らせ

毎年10月に愛児園祭りを催していますが、新型コロナウイルスの状況を鑑みて、開催含めて現在検討しております。日頃より皆様方にはご支援・ご協力を頂いておりますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

開催の可否やバザーの献品等の募集は当園 HP をご確認ください。

つども広場
あいあい

地域の

みんなの居場所をはじめました！

地域における公益的な取り組み

毎週木曜日の夕方、川崎愛児園の地域交流スペースを使って、小学生の放課後の居場所「こども広場あいあい」を開いています。馬絹地区・小台地区を中心に、川崎愛児園周辺にお住まいのお子さんが対象です。「うちの人が帰ってくるまで安心してすごしたい」「宿題やお勉強をゆっくり見てもらいたい」「だれかと一緒にご飯を食べたい」そんな子どもたちの思い、子育て家庭の願いに応えられるよう取り組んでいます。



あいあいを支えるスタッフは愛児園職員ではありません。もともと愛児園のボランティアだった方、ご寄附で立ち寄られた方、民生委員さん、また宮前第3地区社協の皆さん、宮前区更生保護女性会の皆さんなどが参加して下さっています。また、川崎鷺沼ロータリークラブの皆さんからは備品提供などのご協力をいただいています。今後はさらに近隣の大学等に通う学生さんにも仲間入りしてもらい、様々な世代が交流し支えあえる場所を目指しています。

令和2年2月にオープンした矢先、新型コロナウイルスが拡がりを見せはじめ、感染防止のため一時休止しておりましたが、対策を施しながら少しずつ再開しています。

愛児園の「愛」と地域の人々の出「会い」、2つをあわせた「あいあい」です。集まるみんなが少しでもほっとできる場所になればと願いつつ、これからも続けてまいります。

※この事業の運営には皆さまからいただいた寄附金が役立てられています。

こども広場あいあい

毎週木曜日、15:30～20:00。

川崎愛児園地域交流スペースにて。

参加は登録制。途中で帰宅もOK。

18時以降は保護者のお迎えが必要。

夕食は要予約（子ども無料、保護者300円）。



すえっ子広場

「すえっ子広場」続いています

平成29年秋に川崎市の委託事業として始まった高津区久末地区の子どもの居場所「すえっ子広場」ですが、今年度も継続できることになりました。

一人で勉強をすすめることが苦手だった子どもは、広場で用意したプリントをきっかけに少しずつ取り組めるようになりました。最初は恥ずかしがっていた子どもも、今ではすっかりみんなの輪に入って遊べるようになり、夕食の準備もよくお手伝いしてくれます。卒業して中学生になってもふらりと立ち寄ってくれたこともありました。

約3年安定して運営できましたのも、地域や学生のボランティアの皆さんにご協力いただいたおかげとあらためて感謝申し上げます。

来てくれた子どもたちに「ここが居場所だ」と思ってもらえるような広場であり続けられるよう、これからもがんばってまいります。



本園だより

幼児フロア

つぼみユニット

今年度は新1年生が2名となり、小学生4名・年長2名・年中1名の計7名での生活がスタートしました。

元気いっぱい毎日賑やかなユニットです。自分の気持ちを相手に伝えることが苦手な子どももありますが、誰かを助けたい気持ちも強いので、相手を想う気持ちや優しい言葉を皆で育んでいくことを目標にしています。身体を使って遊ぶことが大好きな子ども達はいっただってパワフル全開です!!



わかばユニット

今年度は新1年生が1名と新しく2歳児が加わり、小学生3名・年長1名・年中1名・未就学児1名の計6名での生活がスタートしました。

楽しい遊びや会話をするところが大好きなユニットです。自分で出来る事も増え、毎日沢山のひらめきとときめきで過ごしています。

新しく加わった2歳児は、探検が大好き!分らないことも優しいお兄さんお姉さんに助けってもらいながら元気に過ごしています。



学童女子フロア

わんげユニット

幼児ユニットから小学1年生を迎え、小学生2名、中学生2名、高校生2名の計6名が生活しています。新1年生は新たな学校生活が始まることにワクワクしており、クラブや部活、アルバイト等新しいことに挑戦していくことを楽しみにしているようです。

高校生が中心となって小学生の面倒を積極的に見てくれており、小学生も年上のお姉さんたちを慕っている様子があります。また、みんなでユニットの清掃を行い、子ども達自ら宿題の時間を決め取り組んでいます。それぞれの頑張りを評価して、出来る事をたくさん増やせるように日々支援しています。

すずらんユニット

幼児ユニットから2年生が加わり、小学生2名、中学生1名、高校生2名、措置延長児童1名の計6名が生活しています。措置延長児はデザインの専門学校に入学し、将来の夢に繋げる為に学んでいくことを楽しみにしています。

年齢の幅が広く、アルバイトなどで全員が集まる時間が少ないですが、揃った際にはみんなで仲良くお喋りを楽しんでいます。



学童男子フロア

あおばユニット

今年度、新しく高校1年生が加わり、小学6年生1名・中学1年生1名・2年生1名・3年生1名・高校1年生3名・3年生1名の計8名で生活しています。

中学入学1名、高校入学3名と新入学の子どもも多く、部活やアルバイト等新しい生活を楽しみにしています。中学生は卓球部と美術部に所属し、頑張っています。

毎日、みんなでサッカーやドッジボール等で思いきり汗を流して遊び、楽しく過ごしながらも、やるべきことのメリハリをつけて生活できるよう日々支援しています。

ふたばユニット

小学4年生2名・5年生1名・6年生1名・中学3年生1名・高校3年生1名・大学1年生1名・専門2年生1名の計8名で生活しています。

小学生の2名は野球の習い事、中学生は部活と塾を頑張っています。高校生は卓球の部活とクラブチームを両立して頑張っています。

大学生は社会福祉士を目指して入学し、勉強を始めました。大学生、専門学生はアルバイトも一生懸命頑張っています。

年齢幅が広く、アルバイト等忙しい子も多くいますが、みんな揃うと仲良くテレビゲームやトランプ等をして過ごしています。落ち着いて安心した生活を送り、毎日笑顔で過ごせるよう日々支援しています。



ホームだより

地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム



今年度は小学1年生、小学5年生、高校1年生、2年生、3年生の計5名でスタートしました。ホーム内でジグソーパズルやお菓子作り、食事作りをして過ごしています。みんなで散歩や、公園で体を動かすこともしています。みんなで仲良く、元気に過ごせるよう工夫して生活をしていきたいと思っています。

地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム



今年度は小学1年生が2名、小学4年生、中学2年生、高校1年生、高校2年生、措置延長児の社会人1年生の女子7名でスタートしました。社会人1年生は色々大変なこともあるようですが仕事を頑張っています。皆で公園に行つて鬼ごっこやシャボン玉や水遊び、ホームでお菓子作りや食事作り、工作をして元一杯に生活をしています。大きい子が小さい子の面倒を見ながら色々教えてくれていきます。お互いに相手のことを思いやり、楽しい思い出を沢山作り、皆が笑顔で過ごせる素敵なホームにしていきたいです。

地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム



今年度は小学生1名・中学生1名・高校生2名の計4名での生活がスタートしました。今年度、高校卒業を控えている子どもが1名おり、専門学校進学に向けての受験や自立に向けての準備を進めています！きょうだいのように仲の良い子ども達。新型コロナウイルスにより休校になってる間も、暑い日には水遊びや近くの小川でザリガニ釣りをしたり、野菜を育てたり、ランニングや散歩、お菓子作りなどをして出来ることを楽しみ、日々の何気ない幸せを感じながら生活しています。今年度も楽しく美味しく元気よく過ごしていきたいと思います。

自立援助ホーム 大志



自立援助ホームとは、なんらかの理由で家庭にいられなくなり働かざるを得なくなった原則として15歳から20歳(最大22歳)までの青少年達に暮らしの場を与える施設です。昨年度、麻生区に移転をしたホームは定員6名ですが年度を通して満員でした。現在は15歳から18歳までの利用者が生活していて、それぞれアルバイトや学校へ通いながら自立に向けた準備をしています。写真は昨年度みなで行ったキャンプの帰りに山中湖で撮ったものです。この写真のように「一度きりの人生を「おもいっきり」生きてほしい」と願っています。

園舎の屋上が
緑豊かな
「憩いの場」に
生まれ変わりました！

職員・子ども達からアンケートを取り、どんな屋上にしたいか意見を出し合い、みんなが寛げる場所が出来上がりました。

2019年7月からの工事を経て、同年9月には子ども達も参加して植栽セレモニーを行いました。人工芝に寝転んだり、ベンチや椅子に座ってのんびり過ごすのもよし。鬼ごっこで走り回るのもよし。足湯やミストでリフレッシュもできます。小さい子は自転車練習もしています。子どもも大人もお日様を浴びて心地よい時間を楽しんでいます。

屋上
憩いの場

近隣が一望出来たり、足湯やミストでリラックス出来ます！

外観



花植え



園長先生や子ども達と
思い思いに花を植え、
素敵な花壇が出来ました！



自粛中に屋上で初自転車練習☆
最初はぎこちなかったけど、
今ではすいすい漕げて楽しいです！

くつろぎ

自転車



思い思いに寝そべったり、
みんなでご飯を食べて遊んで
楽しんでいます！

高校3年生のMくんがこれまでを振り返ってメッセージを寄せてくれました。

卓球への取り組み

僕は、小学生の時施設で初めて卓球を知りました。小さい頃から体を動かす事が好きで、毎日サッカーや野球など色々なスポーツをしてきました。施設で初めて出た大会が卓球でした。小学生の部があり、そこで入賞する事ができました。中学生に上がり卓球部に入りました。新人戦という1年生の大会で優勝をしました。僕は小学生の時から荒れていて中学生に上がってどうなるんだろうと思っていましたが、卓球部の顧問の先生や施設の職員さんが僕の為に色々教えてくれた結果ここまで成長することが出来ました。



高校でも卓球部に入部しました。レベルが一つ上がり不安でしたが、高1の時初めてインターハイに出場して3位という結果でした。それは僕にとつての諦めない気持ちメンタルの強さ、自信になりました。この気持ちを次の全国に繋げようと思いい練習に励みました。辛い時や苦しい時、辞めたくない時もありましたが大好きな先輩がMだったら出来るという励ましの言葉を掛けてくれて頑張る事ができました。その結果優勝は出来ませんでしたが高2の時には2位という結果を残す事ができました。また一つの成長に繋がったと思います。

高3最後の全国の為に練習をしてきましたが、コロナが世界中に広がり日本にも害が及び最後の全国が潰れてしまいました。僕が目指そうとした目標が全部失われて泣きました。僕にとつて一番人生で辛い経験をしました。でも陰で支えてくれた職員さんや友達、先輩や学校の先生などがいたお陰でここまで成長が出来たと思います。感謝でいっぱいです。これまで経験してきた事を次の自分に繋げられれば良いなと思っています。

愛児園の人たちは気遣いが出来たり、誰かが困っていれば声を掛けたりと考えて行動出来る人が沢山いて自分もパワーを貰う事ができました。やればできる子が沢山いるので何事にも諦めないで頑張りたいです。

フォトギャラリー

掃除

コロナで自粛中もみんなでお掃除！ピカピカにしました☆

いちご狩り

御寄附の苺を一工夫して園内でいちご狩り！子ども達も職員も楽しく美味しく頂きました！

ホーム

近所でザリガニ釣りや散歩、庭でシャボン玉をしたり、室内では筋トレや料理・お菓子作り等に色々挑戦してみました！

学童女子・学童男子

自粛期間中もみんなアイデアを出し合い、ミニ運動会・流しそうめん・屋上ピクニック・食事会等をして楽しみました！

幼児

外に遊びに行けなくても園庭やお部屋で色々遊べちゃう！三輪車に砂遊び、園庭の土手に登って大冒険☆なんでも楽しいよー！園長先生ともたくさん遊んだよ！

ボランティア紹介

職員の方々、子どもたちに感謝
— 学生の学びを支えていただいています —

専修大学 人間科学部 准教授 駒崎 道

二〇一八年の四月から、前任の宇都谷ゼミを引き継ぎ、貴園にはゼミにおける学習支援ボランティア等を通しての実践の学び、社会調査実習と大変お世話になっております。

川崎愛児園の職員の方々、学生たちに丁寧に対応くださり、本当に頭が下がります。今年も新型コロナウイルスの予防のため、残念ながら学習支援を行っていませんが、感謝の気持ちをこめて、学生たちの日々を少しご紹介させていただきます。四月に大学において、愛児園の職員さんをお迎えし、オリエンテーションを行い、社会的養護の状況、児童養護施設の子どもの入所の背景や、学習支援がなぜ必要なのかを伺います。また、学習支援以外の、週末やイベントでの活動なども、学生たちの活動の選択肢を示して下さり、一人一人の日程調整もしてくださいます。翌月には、施設見学を実施、質疑応答のなかで、学生たちの緊張をほぐしていただきます。授業でも現場に入るルール等を学び、ここから、ようやく活動が始まります。

三年の学生たちは、定期的なゼミ活動として子どもたちや職員さんのお世話になります。四年生は、就職活動など職員の方々と相談しながら、ボランティアとして参加します。子どもたちとの出会いのなかで、悩む学生への個別面談、教員との連絡など地域コーディネーターの職員さんには様々な心をくだいていただきました。最後に昨年度の学生たちの印象深い感想をご紹介します。

教員「活動の感想、悩んでいることなどありませんか」
学生。みなニコニコしたまま黙っている。

教員「なににもないの？ 大丈夫なの？」と促すと、ヒマワリが一言に咲いたような笑顔で「かわいー」「すごい、かわいー！」。ええ、それだけ？ 教員としては、子どもの権利条約を読み、学びを活かした答えを期待。しかし、学生たちの喜び一杯の笑顔から、愛児園さん子ども達と職員の方々から多くの贈り物をいただいていることを実感しました。本当にありがとうございます。感謝をこめて。



職員紹介

『一緒に過すちやうじんじゅ』

齊藤 祐子

私は、愛児園の幼児フロアで週に一度ほどアルバイトをさせていただいています。

きっかけは、14年前、当時働いていた乳児院で担当をしていた2歳の男の子の愛児園への措置変更が決まったことです。生後5日目からずっと成長を見ていたその男の子との別れは、思っていた以上に辛く、措置変更当日からえきえき泣いてしまいました。そこに園長先生が通りかかり、「挨拶をさせてください。そこからたくさんさんの時間を愛児園で過ごさせていただいています。」とお願いをし、職員の皆様も受け容れてくださり、そこからたくさんさんの時間を愛児園で過ごさせていただきました。

昨年、初めて来た時に年長さんだった子ども達が愛児園を卒園する年齢になりました。今年も、当時年中さんだった子ども達が、卒業と進級を祝う会で立派に挨拶をしている姿を見て、この14年、子ども達に何ができたのかなと思ひ返してみました。一緒に食事をし、一緒に遊んで、お風呂のお手伝いをして、夜は一緒にお布団に入り寝かしつけをして…。たくさん話してたくさん笑って、でもたくさん泣いてしまっ日もあるって、子ども達の甘えたい気持ちや、小さな心で感じていることの表現方法も様々で、それをどう受け止めるのが良いのか悩んでいる間に月日が経っていました。

きっとこれからも、ご飯を食べて美味しいねとか、公園に行ったり、お部屋でお店屋さんごっこをして楽しいねとか、お風呂の時にその日あった出来事を聞いたり、夜寝る時は天井に影絵を作って手遊びをしたり…そんな日常を過ごしていくのだと思います。その中で、子ども達が感じるいろいろな感情や、新しいことを知り、できるようになる喜びを、私も一緒に感じ共有することで、子ども達が自分の気持ちをわかってくれる人や、自分の成長や思い出を共有できる人がいることを幸に感じてください。私も少しは子ども達の役に立てたのかなと思います。この原稿を書いているのは、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言がやっと解除されようとしている時です。感染予防のために子ども達に会えない日が2ヶ月を過ぎようとしています。こんなに長く子ども達に会えないのは初めてなので、きっと再会する時は嬉しくて泣いてしまうだろうなと思ひながら、また元気に子ども達といつもの日常を過ごせる日を心待ちにしています。

農園紹介

野菜づくりは
2年目に入りました

愛児園にほど近い、「JAセレス川崎」あぐりっこ農園」で引き続き野菜作りをしています。昨年の秋の台風の影響などもあり冬野菜はあまり多くとれませんでした。ニンジン・長ネギなどはよく育ちました。お鍋やカレー、炒め物などにしておいしいいただきました。また、11月には農園主催のイベントに愛児園の子どもたちも参加し、園主の梅原さんや他の利用者の方々と一緒に豚汁を作った楽しいひと時を過ごすことができました。

春先には玉ねぎを屋上のプランターに植え替えて育てました。この夏にはジャガイモや枝豆がたくさんとれるかな？とれますように！みんなで水やり・草取りをがんばります。





まぎぬ児童家庭支援センター

まぎぬ児童家庭支援センターは開設5年目となります。

地域にお住まいの0歳から18歳のお子さんがあるご家庭から子育てに関する相談を受け、必要に応じた支援を行っています。ご相談には社会福祉士や臨床心理士、保育士の資格を持った相談員が対応します。他の支援機関とも連携し、地域で保護者と子どもが安心して過ごせるよう子育て家庭を支援しています。また、児童養護施設 川崎愛児園が行う、地域のお子さんのショートステイ（宿泊預かり）・デイスティ（日中預かり）の相談窓口としても相談を受け付けています。

現在、保護者の方やお子さん自身から困り事の相談先としてご利用いただくことが増えています。区役所や医療機関などに相談するにはハードルが高いと感じられる方や、気軽に相談できる場所があると安心といった理由でご利用いただくこともあります。例えば、お子さんの発達が気にかかる、お子さんとの関わり方に難しさを感じる、お子さん自身が保育園や学校でやりにくさを感じている、学校に行けない、お友達とうまくいかないなど、様々なお悩みのご相談に応じ、必要な場合には適切な支援機関をご紹介します。また、必要な場合には家庭訪問等での相談にも対応しています。



短期利用

子育て短期利用事業 (ショートステイ・デイスティ)

川崎愛児園では、まぎぬ児童家庭支援センターを窓口として子育て短期利用事業を実施しています。2歳～小学生のお子さんを対象に、保護者の病気や出産、育児疲れ、看護疲れ、冠婚葬祭などにより、ご家庭で一時的にお子さんの育児が困難な場合、1ヶ月に最大7日間までショートステイ（宿泊預かり）・デイスティ（日中預かり）をご利用いただけます。

核家族やおひとり親世帯の増加など家族の形が多様化する中、近隣にいざという時に頼れる親族がないご家庭も多く、年々ご利用の相談は増加傾向にあります。家庭でやむを得ない出張時にお子さんを預けられる先がない、育児への負担が高くお子さんと一時的に離れて休みたい、出産時にお父さんや親族の都合がつかず手助けが欲しいなどの理由でご利用いただくことが多くあります。また、こうしたご家庭で抱える大変さについて面談でご相談いただき、一時的なお子さんの預かりだけでなく相談支援と併せてサポートさせていただきます。



子育て支援

地域への子育て支援

相談事業の他に、子育て家庭への支援の一環として様々な企画を実施しています。昨年度は月1程度で「親子カフェ」と称して、アロマクラフト講座やベビーマッサージ、リトミックなどの講座を行いました。地域に住む子育て中の保護者の方が集まり、情報交換やリフレッシュの場としていただくことが目的です。講座によっては別室保育を設け、保護者の方が少しの時間でもゆったりと過ごせるような取り組みを行い好評でした。

夏休みには、小学生を対象に週1日（全6回）のフリースペース「カムカム」を開催しました。夏休み期間中にお子さんだけで過ごす時間が長くなる家庭や、お子さんの生活に見守りが必要な家庭に対し、学習や余暇の時間を設け、昼食とおやつの提供も行いました。近隣各校から1日あたり平均7名程度の利用がありました。一緒に宿題を進めたり、スライムやプラ板作りをしたり、賑やかに食事を摂ったりして参加児童や保護者からは好評をいただきました。

この他にも、宮前区・高津区で行われた子育てフェスタなど地域の子育て行事にも参加しました。今年度も、地域の子育て家庭の皆さまに楽しんでいただける機会を作っていきたいと考えています。



令和元年度 文体行事・作品展のご報告

卓球大会

中学生男子の部：Sくん 優勝
 高校生女子の部：Mさん 準優勝
 高校生男子の部：Rくん 優勝
 女性職員部の部：Fさん 優勝（3連覇）
 男性職員部の部：Tさん 準優勝



野球・ソフトボール大会

男子野球：……3位



水泳大会

男子ビート板：……Sくん 3位
 女子ビート板：……Rさん 優勝
 中学生女子25m背泳ぎ：……Hさん 優勝
 中学生女子50mクロール：……Hさん 3位
 中学生男子25m平泳ぎ：……Sくん 準優勝



駅伝大会

団体戦 男子の部：4位入賞
 区間賞 Tくん
 団体戦 女子の部：6位入賞
 区間賞 Nさん



送別マラソン大会

小学生男子2.4kmの部：Tくん 4位入賞
 中学生女子2.4kmの部：Nさん 優勝
 男性職員8kmの部：Kさん 6位入賞
 神児研会長賞（皆勤賞）：Nくん



あすなろ作品展

神奈川県社会福祉協議会会長賞
 手芸の部 金賞：Nさん
 工芸の部 銅賞：Rさん、Nさん、Yくん、Tくん、Yさん
 絵画の部 銅賞：Rさん、Sくん、Sくん
 書道の部 銅賞：Kさん



年間行事報告

4月

お花見&BBQ、
入学式・入園式



5月

こどもの日
(市長・市社協
会長来園)



6月

卓球大会



7月

七夕会
幼児キャンプ
小学生
キャンプ



8月

野球・
ソフトボール大会
中高生キャンプ
水泳大会



10月

愛児園まつり
ハロウィン
パーティー
街頭募金
詩吟大会



9月

班別遠足



11月

七五三お参り
駅伝大会



12月

クリスマス会



1月

元旦
送別マラソン
餅つき



2月

節分
あすなろ作品展



3月

ひなまつり
卒業と進級を
祝う会

スキー教室と卒園旅行は
新型コロナウイルスを
鑑みて中止

